

25年目の感想

第27期 門伝道夫

[左CTB 山崎清房の感想]

私達の全国大会は第50回記念大会に当たり秩父宮ラグビー場での入場行進から始まった。行進が終わり整列すると、隣に体の大きいチームがいた。(後に対戦することになる大東文化第一高校だった)

我がチームは初戦対豊島実業(明大G14-0)、2回戦対都立国立(国立高G11-5)と撃破し、いよいよ3回戦。これに勝てば次はあの秩父宮で試合が出来る(相手は成城学園であった)所まで来た。チーム全員気合いが入り、先生達、クラスメートから応援を受け、試合当日を迎えた。土砂降りの成蹊Gしかも当日第二試合のため、グラウンドは田んぼ状態だった。相手は大東文化第一高校である。フォワードサイドをガンガン攻められ、二年のSO大久保君、左FL滝沢君、一年FB小野君等が脳震盪を起こし、フラフラになり、展開ラグビーが得意だった千歳はボールが手に付かず(0-12)と惜敗した。ノーサイドの笛を聞いた時の虚脱感は、今現在43才になっても経験する事のない深いものだった。

[左ロック 高田晴彦の感想]

ラストがかかってからのドンドンがいつ終わるとなく続いている。FWの私、草野、白石はフォローしながら、「わざと落としているのか!」と努力を含んで、わめきながら、それでもボールを追っかけた。何も考えていなかった。ただボールを夢中で追っかけた。非力ながら自分達のラグビーを模索しながら、そこで得たのはまず一人は皆のために、そして皆は一人のためにということだった。現在ラグビースクールのコーチになって、子供達に伝えることも、そして逆に教えられることもこのことだった。

[副将右FR 草野稔(通称凡平)の感想]

あの日は前夜から降り続く雨の日曜日、全国大会予選3回戦大東文化戦であった。試合はほぼ完敗に等しい負けだった。

しかし3回戦に臨んでのチーム状態は、主将門伝以下1、2年部員まで意気軒昂であった。その理由は、苦しい部員不足の春合宿を経て新一年生の加入によるチーム立て直しが出来た事、そして1年ぶりの本格的な夏合宿を経験した事である。これらはOB会の尽力の賜物であり、今から思い起こせば、その前年に現役学生とOBとの長い確執後のOB会との和解があり、現役学生・OB会並びに顧問の大場先生の千歳ラグビー部運営が上手くかみあったと考えます。

この和解の起点になったのは、前主将であった青木先輩が橋渡しをされました。先輩3年時の予選敗退から来る無念さを後輩達が引き継ぐ事の無い様にする為にはチーム力を上げる事しかなく、それにはOBの指導を受けるのが絶対に必要であった。そしてその時のOB会の現役に対する寛大さ、努力には今でもおどろきと共に感謝の気持ちです。

試合が終わり、山崎君が「悔しくて仕方がない」と涙顔で言っていたのが25年たった今も忘れられません。

[主将右CTB 門伝道夫の感想]

27期全員で6人いた。残念ながらNO.8白石順一君のコメントはもらえませんでした。右フランカー林嘉一君は同期からのことばの欄に語ってもらいました。

高三の秋は、後輩の主将SH仲育男君に運営は任せていたが、全国大会までは、どうしてもやり通したかった。

受験戦争真只中でたいていの運動部は春で高二にバトンタッチしていた。他の都立高も同様であった。理由は、二年前の主将でSHの桑原先輩と前主将で右フランカー青木先輩が少人数になられてもやり遂げた事をどうしても後輩達へ受け継ぎたいという思いで意地でも続けたかった。

千歳高グランド補修の為、明大八幡山Gを借りて練習できた事、春合宿の東大検見川Gを抽選でとりに行った事等、色々な思い出があり、又、諸先輩にお世話になった事を更に深く感謝したいと思います。

最後に忘年会として凡平(カナダに移住し水産関係の仕事をしている)を交えて、桑原、青木先輩、並びに28期主将になった水谷君、左ウイング秋本君、同期の山崎君、林君等と年末に再会して当時を思い出し、語りあえた事をうれしく思えるし、凡平のコメントももらえた事は幸運であった。(年に一度しか帰国しない。)CRC万歳!!

(第 27 期
同期生からのことば)

千歳ラグビー部3年間で学んだ事は、「ヤル気」「マケン気」「コン気」の三本の気でした。この気は、私の心の強い支えです。

林嘉一

全国大会最終戦の翌日は学校恒例のマラソン大会で体が痛く、思う様に走れなかった。

山崎清房

合宿では食って寝る奴が強い。三年の春合宿の三日目にして大腸カタルが続出、四日目からOBの食事作戦は中止となった。

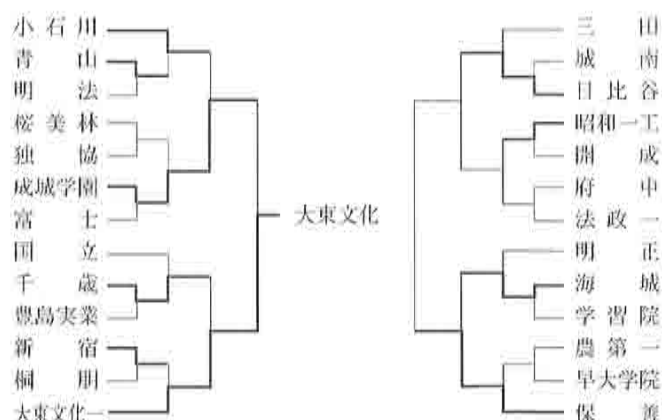
高田晴彦

○昭和45年2月～11月までの戦歴

日付	大会名	対戦高	グラウンド	勝敗	スコア
2.14.	練習試合	小石川工高	成城高校	○	21-6
2.22.	新人戦	武蔵工大付属高	〃	○	26-8
3.30.	於春季合宿 練習試合	千歳高OB	東大検見川	●	16-19
3.31.	〃	千葉東高	〃	●	14-18
4.26.	春季大会	青山高	城北高校	●	6-6 (抽選引)
7.19.	OB戦	千歳高OB	千歳高校	○	21-8
8.11.	於夏季合宿 練習試合	作新学院	宇都宮、栃木県営G	●	0-51
8.12.	〃	栃木県選抜	〃	●	3-36
8.22.	練習試合	農大一高	農大一高	○	24-5
9.14.	〃	鳥山工高	鳥山工高	○	48-0
9.14.	東京-神奈川親善試合	神奈川工業高	保土ヶ谷G	○	19-3
11.3.	全国大会予選第一回戦	豊島実業高	明大八幡山	○	14-0
11.12.	全国大会予選第二回戦	国立高	国立高	○	11-5
11.15.	全国大会予選第三回戦	大東文化一高	成蹊大	●	0-12

○第50回全国高等学校ラグビーフットボール大会

東京都予選(第二地区) 昭和45年11月1日～29日



○出場メンバー

- | | | |
|----|-------|-------|
| 1 | 福田肇 | 補欠 |
| 2 | 水谷嶺 | 関不二夫 |
| 3 | 草野稔 | 長井孝男 |
| 4 | 高田晴彦 | 池亀哲也 |
| 5 | 田中彰 | 岡田雅文 |
| 6 | 滝沢伸 | 羽田野社二 |
| 7 | 林嘉一 | 田加由紀夫 |
| 8 | 白石順一 | 桐ヶ谷宏 |
| 9 | 仲育男 | |
| 10 | 大久保正則 | |
| 11 | 秋本裕蔵 | |
| 12 | 山崎清房 | |
| 13 | 門伝道夫 | |
| 14 | 花沢周二 | |
| 15 | 小野野 | 恵 |

○昭和45年度都高校春季大会
昭和45年4月26日～6月7日

